

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワークの理論と方法 (専門) a		選択	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
増田 洋介	B310	yosuke.masuda	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実践について理解するとともに、ソーシャルワークにおける援助関係の形成、ネットワークの形成について理解することを目的とする。</p> <p><概要>現代社会における生活課題が多様化・複雑化していることを認識したうえで、分野や領域を超えたかかわりの重要性を理解するとともに、人々と環境とをつなげる働きかけについて理解を深めるため、教科書や資料をもとにグループワークを取り入れた講義を行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	授業中やリアクションペーパー、オフィスアワーを活用し、授業内容について理解を深めてほしい。また、授業外での学習時間を使って自主的に文献を調べるなど、積極的に学びを進めてほしい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法 [社会専門] /編:日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	総合的かつ包括的な支援の考え方について理解し、説明できる。			HSU(1)、(2)、(3)、HC(1)、(2)、(3)	
②	家族支援、地域支援、災害支援の実際について理解し、方法や留意点を説明できる。			HSU(1)、(2)、(3)、(4)、HC(2)、(3)、(4)	
③	援助関係の形成について理解し、その意義や方法、留意点について説明できる。			HSU(1)、(2)、(3)、HC(1)、(3)、(4)	
④	ネットワークの機能や構築プロセス、手法について理解し、説明できる。			HSU(1)、(2)、(3)、(4)、HC(2)、(3)、(4)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	[オリエンテーション] 授業の進め方、評価方法、学習方法について理解する。	講義	シラバスを精読する。	4	
2	[総合的かつ包括的な支援の考え方] 分野や領域を超えた問題解決のかかわりについて学ぶ。	講義・GW	教科書第1章第1節を精読する。	4	
3	[家族支援①] 家族を取り巻く社会状況、家族が抱える複合的な課題、家族に関する基礎理論について学ぶ。	講義	教科書第1章第2節を精読する。	4	
4	[家族支援②] 家族理解のためのツール、家族支援の実際について学ぶ。	講義・GW		4	
5	[地域支援①] 地域支援の実際について学ぶ。	講義・GW	教科書第1章第3節を精読する。	4	
6	[地域支援②] 地域支援の特徴と必要な知識・スキル、大切にすべき価値について学ぶ。	講義		4	
7	[非常時や災害時の支援①] 非常時や災害時における生活課題や支援の目的・留意点について学ぶ。	講義	教科書第1章第4節を精読する。	4	
8	[非常時や災害時の支援②] 災害ソーシャルワークの実際について学ぶ。	講義・GW		4	
9	[非常時や災害時の支援③] 災害ソーシャルワークの実際について学ぶ。	講義・GW		4	
10	[ソーシャルワークにおける援助関係の形成①] 援助関係形成の意義と概念について学ぶ。	講義	教科書第2章第1節を精読する。	4	
11	[ソーシャルワークにおける援助関係の形成②] 援助関係の形成方法と留意点について学ぶ。	講義・GW	教科書第2章第2節を精読する。	4	
12	[ネットワークの形成①] ネットワーク、ネットワーキングの特徴と政策動向について学ぶ。	講義	教科書第3章第1節を精読する。	4	
13	[ネットワークの形成②] ネットワークの性質、機能、構築のプロセスと手法について学ぶ。	講義・GW		4	
14	[ネットワークの形成③] コーディネーションについて学ぶ。	講義・GW	教科書第3章第2節を精読する。	4	

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

15	[まとめ] これまでの授業の総括を行う。	講義	教科書第 1～3 章の内容を復習する。	4
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照			

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	0	0	0	50	100
総合 力 指 標	知識・技術力	30	0	0	0	10	40
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	期末試験を実施し、記述式および選択式の問題を出題する。行動目標①～④について総合的な達成度を判断できるよう出題し、評価する。	正答や模範解答を Teams で公表する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	授業終了後にリアクションペーパーを Teams にて提出する。授業内容の理解や取組み状況等を確認し、評価する。	次回授業時にフィードバックを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	社会福祉士資格取得後 7 年の実践経験を有する
実践的授業の内容	教員自身の実務経験にもとづき、対人援助職として必要な価値・知識・技術を教授する。
そ の 他	<p>【履修についての条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会福祉士国家試験受験希望者は必ず履修すること。 <p>【受講する際の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 受講の際には、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって、シラバスの変更が行われることがある。